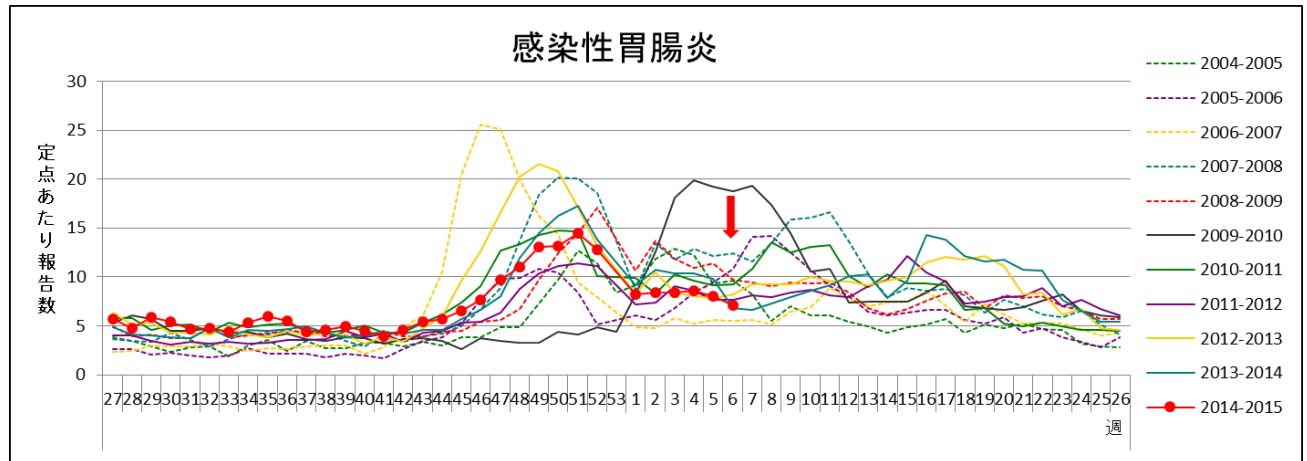


# 感染性胃腸炎週報 2015年 第6週 (2月2日～2月8日)

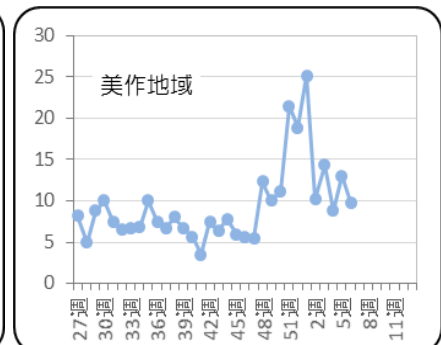
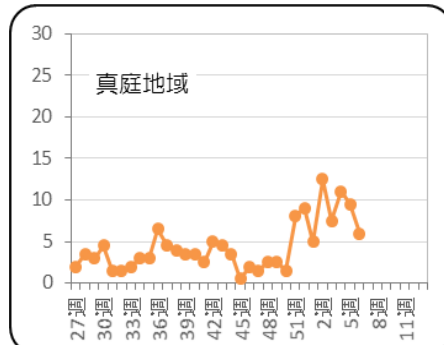
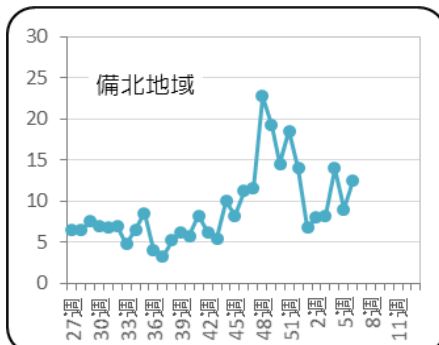
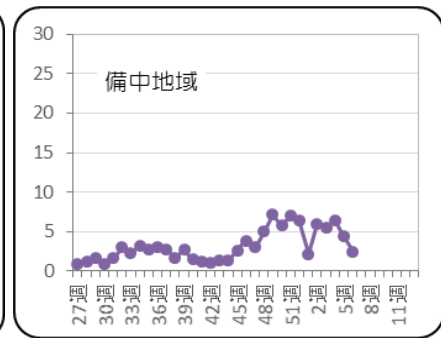
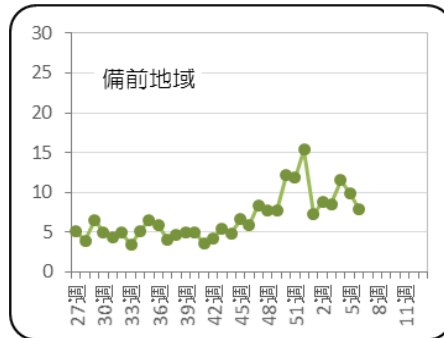
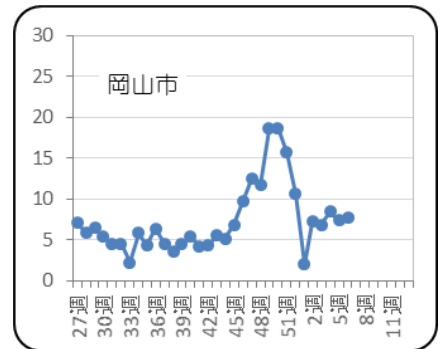
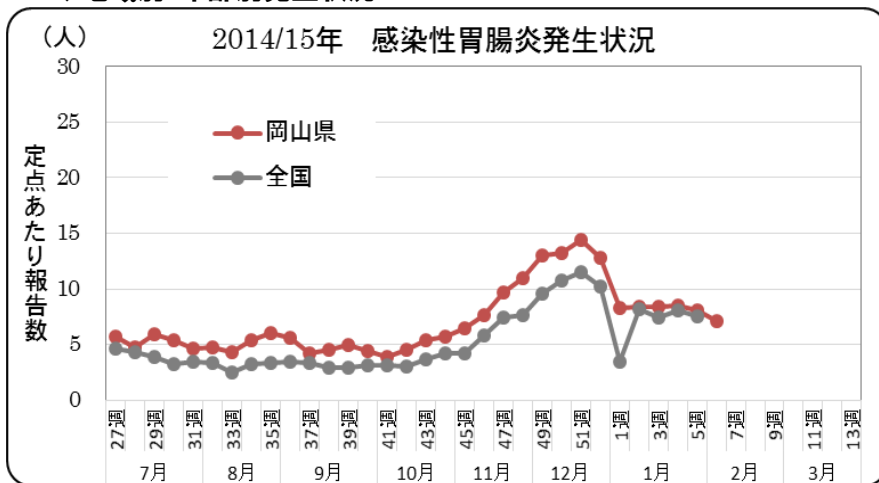
○感染性胃腸炎は、県全体で384名(定点あたり8.07→7.11人)の報告がありました(54定点医療機関報告)。



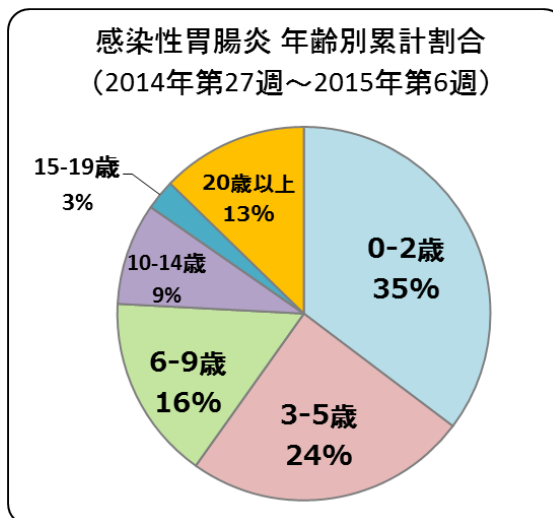
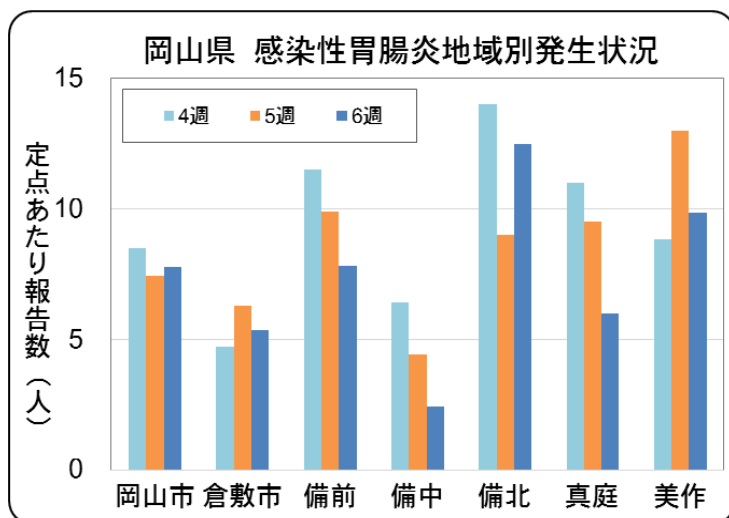
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で384名(定点あたり8.07→7.11人)の報告があり、前週よりわずかに減少しましたが、依然として多くの患者が報告されています。備北地域の飲食店において、感染性胃腸炎様の症状を呈する食中毒事件が発生しました(2月9日 [報道発表資料](#))。全国では、ノロウイルスの集団感染も発生しています。学校や福祉施設、病院などでは、手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。

## ◆地域別・年齢別発生状況



地域別では、備北地域（12.50人）、美作地域（9.83人）、備前地域（7.80人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、備北地域（9.00 → 12.50人）では前週より増加しています。年齢別累計では、5歳以下の乳幼児が全体の59%を占めています。



## ノロウイルスに感染しないためには

### 1. 最も大切なことは手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

### 2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

嘔吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。処理するときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、下痢便、嘔吐物をペーパータオル等で静かに拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤でも代用可）**で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをします。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。ノロウイルスにアルコールは消毒効果が低いとされています。

### 3. 嘔吐物や下痢便で汚れた衣類は、**85℃で1分以上の熱水洗濯か次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤でも代用可）**の消毒が有効です。

嘔吐物や下痢便で汚れた衣類は、付着した汚物を除去し、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗った後、熱水洗濯か次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。

※塩素系漂白剤の使用に当たっては「使用上の注意」を確認しましょう。

### 4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。（中心部を85～90℃で90秒間以上）

[ノロウイルスに関するQ&A（厚生労働省ホームページ）](#)

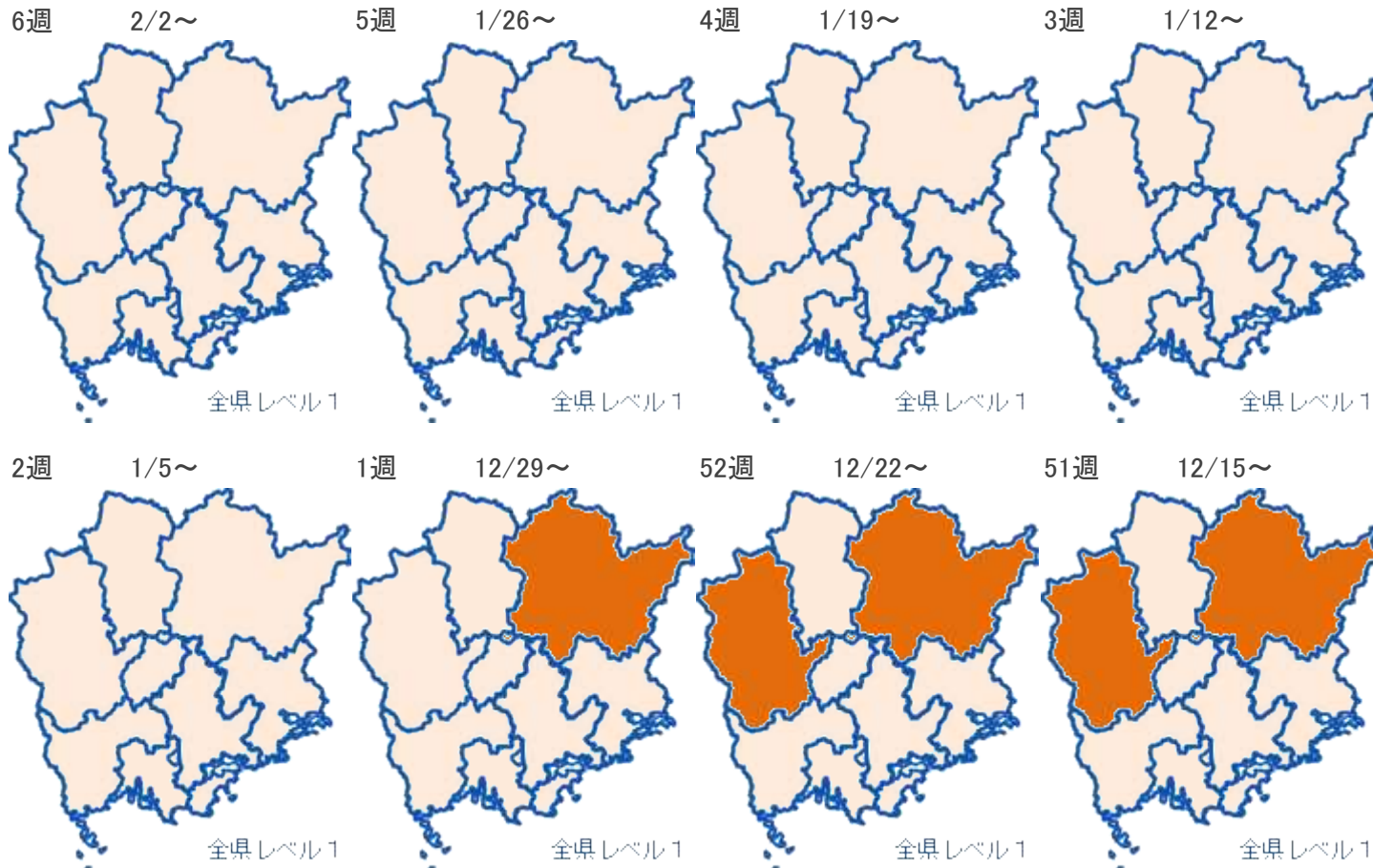
[食中毒（ノロウイルス）注意報を発令中です（岡山県ホームページ生活衛生課）](#)



# 岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2015年 6週

2015年2月10日

15:17:27



## 感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。